

報告書（社会貢献活動）

JBC CARES（JBC ケアズ） 令和 8 年 熊本震災復興支援活動

日時：令和 8 年 9 月 6 日(日)

訪問場所：熊本県宇土市市役所、避難所（宇土市アリーナ）、
全日本アマチュア大会会場（熊本農業高等学校）、宇土市所在ボクシングジム

JBC 試合役員：安河内剛、山本博、小池幸弘、古田巖一

訪問応援： 具志堅用高氏

【詳細】

令和 8 年 7 月 28 日午後 4 時 27 分頃、地震速報のニュースが飛び込んできた。熊本南部を再び震度 7 の地震が襲ったとの報に、誰もが言葉を失うほどの衝撃であった。被災地の状況を案じながら 1 ヶ月が経過したところで、今回の震災地訪問が実現した。

当初、この日には JBC ケアズ熊本大会を開催する予定であった。しかし、会場の損壊やインフラの破損、水道の断水などに加え、選手の自宅やボクシングジムにも被害があり、大会の開催を断念せざるを得ない状況となった。

しかし、地元有志と話し合い、「負けんばい熊本！」という強い精神のもと、どのような困難があっても全員で立ち上がろうと決意し、復興支援活動を行うこととなった。

今回の復興支援と被災地への訪問に賛同し、多大なるご協力をいただいた具志堅用高氏とともに、まず避難所となっている宇土市体育館（宇土アリーナ）を訪問した。

訪問時には、宇土市市長をはじめ関係者の皆様、そして多くの被災者の皆様に温かく迎えていただいた。皆様の元気な笑顔を拝見し、胸が熱くなった。

被災者の皆様からは、「来てくれてありがとう」「元気をもらいました」といった温かい言葉をいただいた。また、具志堅氏によって急遽写真撮影やサイン会なども行われ、会場は大いに盛り上がった。

また、今回の熊本訪問では、宇土市市役所にて光井正吾市長をはじめ、宇土市関係者の皆様に正式なご挨拶をさせていただいた。

JBC 代表の安河内より義援金とミニチャンピオンベルトを光井市長へお渡しし、市長からも温かいお礼の言葉をいただいた。その後、市民の皆様が置かれている困難な状況や、避

難所における現在の状況についてご説明いただいた。実際の被災状況や現地の様子を直接伺うことで、改めて震災の甚大な被害と、復興に向けた取り組みの重要性を実感した。

最後に、熊本訪問に際し、活動をご支援いただいた具志堅用高氏、地元発起人である元WBO ミニマム級チャンピオンの福原辰弥氏をはじめ、宇土市内でジムを運営されている元日本ランカーの吉田龍生氏、地元関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今回の復興支援活動を通じて、被災地の皆様と直接交流し、復興に向けて歩みを進める皆様の姿を拝見することができた。一日も早い復興を心より願うとともに、今後も私たちにできる支援を継続していきたい。



